



## 車輪の両輪として

校長 田屋 多恵子

新緑の木々の葉が、初夏を思わせるような風に揺れています。新しい学年、学級がスタートして一ヶ月が経ちました。毎日学校の中を歩きながら教室を覗くと、子どもたちが新しい環境で、先生方と一緒に学習に取り組んでいる様子がとてもよくわかります。

どのクラスの子どもも、どの先生も真剣です。学年のはじまり、そして学級のはじまりはとても重要です。子どもたちと創っていく一年間をどう過ごしていきたいのかを様々な言葉や動作で先生方が子どもたちに伝えています。先生のメッセージが子どもたちに伝わり、またこの部分が伝わっていないのか、日々先生たちは子どもと向き合うために努力をしています。また子どもたちも目を輝かせて先生の話聞いています。一年のスタートの詩をご紹介します。

### 飛び立つ

ひとは ゆくてに 目標をもっているとき  
生きてゆかれる 力にみちて

入学してから 毎日 何かが新しかった  
先生や友だちの顔と名前を覚えること  
文字が読め 書けるようになり  
自分の言葉で作文ができあがったとき  
数のもつ意味がひろがり ぐらしに生かされたとき  
社会や自然の動きは みなかかわりあっていること  
それをわかり深めていく 知恵をつけ  
明日をつくる力を 自分たちのものにする

ひとは自分で 見・聞き・考え・わかり  
自分の意志で行動するとき 本当に手をつなげる (畑島喜久生編集から)



さて、お子様のご家庭での様子はいかがでしょう。一つ上の学年に進級し、すべてが新しくなったこともあり、緊張感もあった一ヶ月であったのではないのでしょうか。5月に入り家庭訪問が実施されます。ご多用な中とは思いますが、ご都合がございましたら、是非ご家庭での様子をお伝えいただき、担任ともお話をしていただけましたらありがたいです。

学校とご家庭は子どもを育てるための、車の両輪です。子どもを健全に育てていくためには、相互の理解と協力が必要です。今年もまた羽沢小学校の教育にご理解とご協力、そしてご支援をいただきともに車の両輪として子どもを育てていければと考えております。